エコアクション21
ECO ACTION

令和4年度版
― 環 境 活 動 レ ポ ー ト ―

活動期間　2023年5月1日～2024年4月30日

第10版　作成日　2024年6月15日

さとう産業株式会社

目　　次

Ⅰ　環境方針
Ⅱ　事業概要
Ⅲ　環境管理組織図と実施体制
Ⅳ　環境目標
Ⅴ　環境活動計画の取組結果
Ⅵ　実績と評価と次年度の目標
Ⅶ　コミュニケーション活動
Ⅷ　環境関連法規等の遵守状況
Ⅸ 代表者による全体の評価と見直し

環境方針

【環境経営理念】

さとう産業株式会社は、廃棄物の処理を通じ、事業者や地域社会との協働を目指すと共に地球環境に配慮した生活環境の保全と改善に努め、かけがえのない地球の自然や環境を守り、美しい環境づくりと豊かな社会形成を目指し努力します。

【基　本　方　針】

当社は、環境理念に基づいた環境経営システムを構築し、環境負荷を軽減すると共に、環境に配慮した継続的な活動を展開致します。

1、環境負荷低減活動の取組を行い、二酸化炭素排出量、廃棄物排出量総排水量の削減に努めます。
（1）電気、軽油、ガソリンの軽減に取り組みます。
（2）3Rを推進して廃棄物排出量の削減に取り組みます。
（3）洗車時の節水に取り組みます。
（4）事業系一般廃棄物排出者の分別・再資源化推進に協力します。

2、事務用品を主体とするグリーン購入を推進します。

3、環境関連法規制等の遵守
環境関連法規制及びその他の規制を遵守致します。

4、環境に関しての教育
全社員に環境に関しての教育を行い、環境保全の意識を高めます。

5、環境コミュニケーションの積極的実施
環境活動レポートを社内外に公表し、社会とのコミュニケーションを大切にします。
社内においては、全社員にこの環境方針及び必要事項を周知し全社員による取組を展開します。

改定②　2011年7月12日
制定　　2009年10月1日
さとう産業株式会社
代表取締役　佐藤宏美　　印

事 業 概 要

事業所及び代表者　さとう産業株式会社
代表取締役　佐藤宏美

所　在　地　事務所：静岡県富士市神戸689番地の4
TEL：0545-21-1101　FAX：0545-21-1156

駐車場：静岡県富士市大淵字糀窪581番地3

環境管理の責任者及び担当者連絡先
環境管理責任者　竹川祥貴
担当者　大山優瞳

設　立　平成　5年5月28日
平成17年5月21日　（株式会社に組織変更）

活動事業の概要　一般廃棄物・産業廃棄物・特別管理産業廃棄物収集運搬業
富士市一般廃棄物業務受託

許可内容　一般廃棄物　【富士市】第1－2－13号　令和6年4月1日～令和8年3月31日
家庭系廃棄物・事業系一般廃棄物
【富士宮市】富生許第7号　令和6年4月1日～令和8年3月31日
事業系及び家庭系一般廃棄物

産業廃棄物　【静岡県】第02201025593号
令和3年6月17日～令和8年6月16日
廃プラスチック類(石綿含有廃棄物を除き、水銀使用製品産業廃棄物を含む。)
金属くず（水銀使用産業廃棄物を含む。）ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器
（石綿含有産業廃棄物を除き、水銀使用産業廃棄物を含む。）、がれき類
（石綿含有産業廃棄物を除く。）、汚泥（水銀使用産業廃棄物を含む。）
紙くず、木くず、繊維くず　以上8品目

特別管理産業廃棄物　【静岡県】第02251025593号
令和1年10月12日～令和6年10月11日
感染性産業廃棄物

平成22年7月7日　環境マネージメントシステム・エコアクション21認証取得

資　本　金　1,000万円
売　上　高　14,559万円
従業員数　9名
延床面積　事務所　35㎡　駐車場　1531．34㎡

車両台数

パッカー車	5　台	2t 保冷車	1　台
フックロール車	1　台	1t　バン	1　台
ユニック車	1　台	軽四輪車	2　台
2t　ダンプ車	1　台		

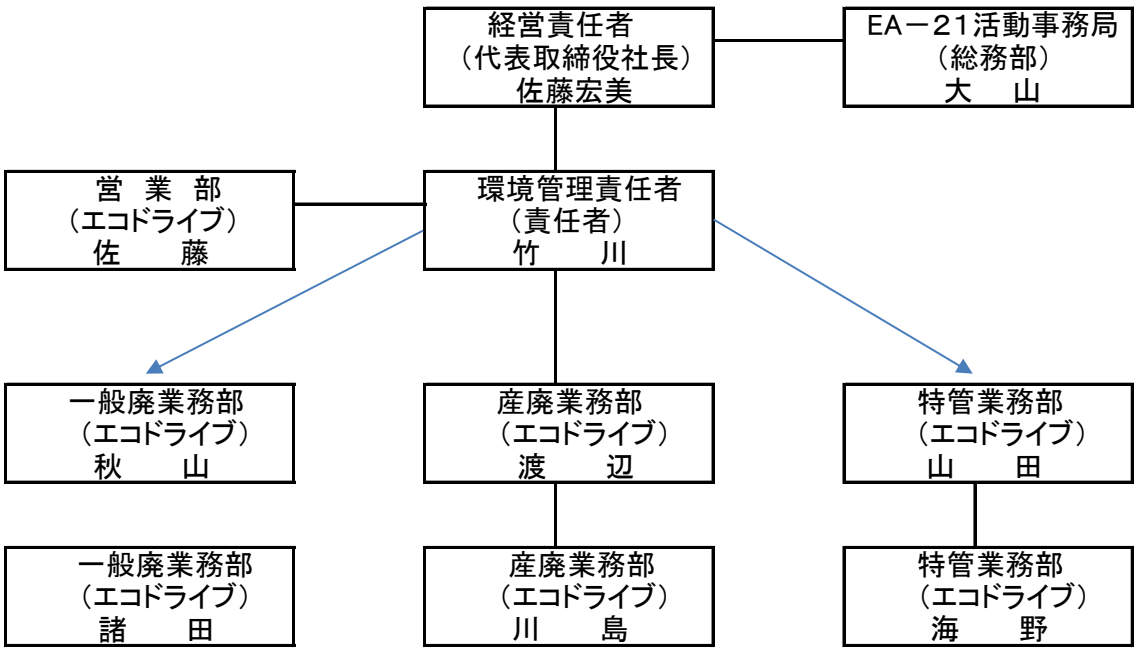
受託量

一般廃棄物	1099.74 t/年
産業廃棄物	276 t/年
特別管理産業廃棄物	74.22 t/年
富士市委託一般廃棄物	752.78 t/年

処理料金　別途見積による

さとう産業株式会社 環境管理組織図及び実地体制

改定2024年4月30日



＜環境管理組織における機能＞

経営責任者

①環境方針の作成と社員への周知
②環境管理責任者の任命
③資源（人材、資金、設備）の準備
④全体の評価と見直し
⑤経営の課題とチャンスの明確化

環境管理責任者

①環境経営活動の推進
②環境目標及び活動計画の作成
③環境経営推進会議の実施
④経営者への進捗報告（毎月始実施）
⑤従業員教育

EA－21活動事務局

①各部門のデータのまとめ
②活動計画の作成、実績管理
③環境負荷・環境への取組の自己チェックの実施
④環境管理責任者補佐
⑤法規制最新版管理
⑥文書・記録の管理

産廃業務部・一般廃業務部・特管業務部

①活動計画の実施
②月別部門データの集計
③問題点の把握と是正の実施
④推進会議の出席

環境活動計画の取組結果

○印は活動実施出来ている　△は十分でない　×は未実施

取組目標	実施項目	責任者	担当	スケジュール 活動期間 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	活動期間評価 5～4月
購入電力（事務所）	・休み時間の消灯の徹底	竹川	中山	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
	・適正温度での空調			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
	・クールビズ・ウオームビズ推奨			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
	・自然光の取入れ			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
購入電力（駐車場）	・洗車場高圧洗車機	竹川	山田	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
	・休み時間の消灯の徹底			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
	・適正温度での空調			○	○	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	△
	・クールビズ・ウオームビズ推奨			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
	・自然光の取入れ			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
水使用量の削減	・洗車時の節水	竹川	山田	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
	①節水レバーの設置			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
	②雨水の利用			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
	・水漏れ点検の実施			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
廃棄物排出量の削減	・コピー用紙の両面使用	竹川	中山	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
	・電子メールでペーパーレス			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
	・電子マニフェストシステム導入			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
リサイクルの推奨	・段ボール、雑誌紙等リサイクル	竹川	山田	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
	・ペットボトル、ビン、缶リサイクル			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
グリーン購入の推奨	・備品等の新規購入時グリーン購入検討	社長	中山	○	△	△	○	△	△	△	△	○	△	△	○	△
軽油・ガソリンの削減	・エコ運転の実施	竹川	山田	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
	・日常点検、定期点検			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
	・エコ整備、エコ車検			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
	・ルート収集			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
	・走行距離管理			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
事業系一般廃棄物の分別再資源化	・ペットボトル	竹川	山田	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
	・缶			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
	・雑誌・古紙類			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎

	・廃プラスチック類			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
適正処理	・医療系廃プラは感染性で処理する	竹川	山田	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
	・廃蛍光管、廃乾電池			○		○		○		○		○		○		◎
契約件数を増やす	・適正処理の説明/指導	社長	山田	○		○			○			○		○	○	◎

※ 次年度計画　　次年度も継続的に取り組む

受託した廃棄物の収集運搬における環境配慮

取組目標	実施項目	責任者	担当	スケジュール 活動期間												活動期間評価
				5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5～4月
受託した廃棄物の収集運搬における環境配慮	・収集ルート見直し	竹川	山田	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
	・顧客・市民に対する分別指導			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
	・家庭ごみステーションの清掃			○	△	○	△	△	○	○	△	○	○	○	○	△
	・顧客の医療系廃棄物の保管・管理の指			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
	・車両の洗車			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
	・洗車場の清掃			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
	・社員の清潔な服装			△	○	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	△

※ 次年度計画　　次年度も継続的に取り組む

事務所内の照明をＬＥＤ化

事務所内の照明は極力自然光を取り入れるようにしていますが
消費電力量を押さえるためLEDを導入しました。

コミュニケーション活動

社員によるミーティング（環境経営推進会議）

＊ 消防協力事業所の登録

社員より事業所として、地域に対する社会貢献活動の一環として従業員による消防団活動を支援したいとの要望があり、富士市・消防団協力事業所としての認定登録を受けました。
現在、一名の登録ですが、今後登録者を増やしていきたいです。

＊ ダストボックスの貸し出し案

現状、ダストボックスは買い取りして頂いているが貸し出しを希望するお客様が多いのでリースとして貸し出しをしてはどうかとの意見があり、検討した結果、低額で貸し出す事にしました。

＊ 飲料水自販機を設置

各自水筒等で飲料水を持参しているが、設置しているアクアクララ飲料水以外にも自販機を設置して欲しいとの要望があり設置した。
近年の酷暑による疲労回復に小まめな水分補給と休息を取り、作業効率向上になっている。

環境関連法規等の順守状況及び違反・訴訟の有

環境関連法規制の取り纏め及び遵守状況

1、下記環境関連法規の遵守確認した結果違反はありませんでした。
2、関係当局より違反の指摘、訴訟等も過去3年間ありません。

遵守評価　2024年5月31日

適用対象	法規・条例・規則	適用内容または規制基準値		遵守状況
廃棄物収集運搬業者	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物排出事業所との委託契約	契約書の締結	○
		紙マニフェストの管理	B2票・D票・E票の返却	○
		紙マニフェストの期間内返却	90日以内または180日以内	○
		紙マニフェストの保管	5年間	○
		電子マニフェストの管理	3日以内に登録	○
		マニフェスト交付状況の報告	知事（保健所）6月30日まで	○
		投　棄　禁　止	不法投棄を行わない	○
		廃棄物の悪臭・飛散防止	車両荷台にシートを被せる等	○
		水銀使用産業廃棄物の適正処理	蛍光管乾電池を適正に処理する	○
		水銀使用産業廃棄物の適正な運搬	容器・緩衝材等で使用する	○
		許可の取得更新	5年ごとの講習と更新※	○
	家電リサイクル法	指定家電の収集	テレビ・冷蔵庫　他	○
	PCリサイクル法	OA機器の収集	パソコン・モニター　他	○
	道路運送車両法	日常点検	ブレーキ、タイヤ、バッテリー等	○
		定期点検	かじ取り装置、制動装置等	○
	消　防　法	消火器設置		○
事業者全般	環境基本法	一般的な自主努力		○
	地球温暖化対策推進法	温室効果ガス抑制措置	自治体施策への協力	○
	循環型社会形成推進基本法	3Rへの努力	廃棄物等の内、有用な物の循環的な利用を促進	○
	グリーン購入法	環境物品の購入	事業者の一般的責務	○
	自動車リサイクル法	引取業者への引渡し	リサイクル料金の支払い	○
	消　防　法	火災の予防	パッカー車の火災予防	○
	フロン排出抑制法	定期点検の実施	業務用エアコン	○

環境目標

2023年度 運用目標及び中期目標

中　期　目　標					
項目	単位	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
		基準値	−0.5%	−1.0%	−1.5%
二酸化炭素排出量削減	Kg－CO2	57587	−0.5%	−1.0%	−1.5%
①購入電力の削減	KWH	4347	−0.5%	−1.0%	−1.5%
②軽油の削減	L	22401	−0.5%	−1.0%	−1.5%
③灯油の削減	L	232		実績把握	実績把握
④ガソリンの削減	L	1116.13	−0.5%	−1.0%	−1.5%
水の削減	㎥	132	実績把握	実績把握	実績把握
一般廃棄物の削減	t	0.235	実績把握	実績把握	実績把握
契約件数増	件	35	契約件数を増やす		
運搬量受託廃棄物	t	1578.71	1.0%	2.0%	3.0%
再生資源回収量	t	206.34	1.0%	2.0%	3.0%
参考:原単位当り二酸化炭素 (二酸化炭素/受託量＋資源回収量)	Kg－CO2/t	32.26	実績把握	実績把握	実績把握

※　重点テーマとして受託量及び再生資源回収量を増やす活動を展開しているので二酸化炭素量は増加傾向になるため単位(受託量＋資源回収量＝1t)あたりの二酸化炭素発生量についても把握する。

※　灯油、水使用量については使用量が少ないため実績把握とする。

※　排出係数は0.441(kg-co2/kwh使用)とする。

※　事業系一般廃棄物・産業廃棄物の契約件数を促進し適正処理する。

実績と評価と次年度の目標

項目	単位	2023年度 目標値	2023度 実績	削減率 （目標値対比）	判定
二酸化炭素排出量の削減	Kg－CO2	57300	65197	119.18%	▲
①購入電力の削減	KWH	4325	5621	136.10%	▲
②軽油の削減	L	22289	23409	110.02%	▲
③灯油の削減	L	実績把握	212	—	◎
④ガソリンの削減	L	11105.00	1285	121.15%	▲
水の削減	㎥	実績把握	134	—	◎
一般廃棄物の削減	t	0.235	0.187	0.80%	◎
契約件数増	件	契約増に向け努力		—	◎
運搬量受託廃棄物	t	1594	2202	138.10%	◎
再生資源回収量	t	206	224	108.73%	◎
参考：原単位二酸化炭素量	Kg-CO2/t	32.1	26.8	0.83%	

※ 排出係数は0.441（kg－Co2/kwhを使用）とする。

※ 判定 ◎目標達成 ▲目標未達成

取組結果の評価　2023年度

※ 二酸化炭素については仕事量の拡大に伴い大幅に増えたが取扱量1tあたりで見ると大幅削減。

※ 電力については、コンテナの腐敗修繕の為、研磨作業とさび止め塗装、仕上げ塗装修理を行った為による。また、社員からの要望により、車庫内に飲料水自販機を設置した事も使用量の増加に繋がった。車庫内に於いてエアコンの止め忘れがあり、これについては責任者が徹底して確認するようにする。

※ ガソリンについては、営業活動を活発に行った事によるが、今後も積極的に行い、事業拡大させていきたい。

※ 軽油使用量については、回収件数の増加もあるが、冬季夏季のアイドリングが要因となった。

※ 灯油の使用量については、適正に使用できた。

※ 水の使用については、車両荷台部分の腐敗が酷くなっており、洗車が雑であった事も一要因であるため、洗車を丁寧にし、車両維持を図ったことにより増加した。

※ 契約件数増については、前年同等件数の増加となり、今後も契約件数増加に向け努力する。

※ 受託した廃棄物運搬量は391.92t増えた。また、再生資源として古紙、缶、ビン、ペットボトルを分別し各処理場へ搬入している。

次年度の目標

※ 目標の変更　無し：二酸化炭素原単位については更に1年実績把握し、目標化の有無検討

※ 電力使用量については、適正な使用を心掛け、無駄な使用や止め忘れをしないよう確認を徹底する。また、新電力への切り替えも検討していきたい。

※ 軽油・ガソリン使用量については、日々の無駄なアイドリングをなくすことは勿論だが、車両入れ替えも検討していく。

※ 次年度も引き続き水銀使用製品と産業廃棄物の回収のコスト削減に務める。

代表者による全体の評価と見直しの記録

代表者印
佐藤

《　適切性、妥当性、有効性の評価　》

	環境管理者よりの報告内容・提案	代表者からの指示事項	変更の必要 有り	変更の必要 無し	変更の必要 コメント
環境経営システム有効性評価	【取組状況の評価結果】 ①環境関連法規制遵守状況 2024年5月31日遵守状況確認 確認結果：遵守されている ②是正処置・予防処置の有・無 〈有りの場合内容〉 無し ③各部門の取組状況 ■各部門計画通り □一部計画遅れの部門有り □各部門大幅に計画遅れ 〈遅れ内容〉	【環境方針の見直し】 環境関連法規制は確実に遵守されています。		✓	次年度も環境関連法規制を遵守し、適正処理に努める。
取組の適切性の評価	【目標・活動計画の達成状況】 ・目標達成状況の報告 □環境目標達成 □一部環境目標未達成 ■大幅に未達成 〈未達成内容〉 ・二酸化炭素の排出量 ・購入電力の削減 ・軽油の削減 ・ガソリンの削減 ・活動計画の達成状況の報告 ■概ね達成 □一部未達成 □大幅に未達成 〈未達成内容〉	【目標・活動計画の見直し】 二酸化炭素の排出量を削減 車庫内の二酸化炭素排出量 について、不要な電力の使用がある。エアコンのOn・Offを確認し無駄な電力消費を無くす事。 夏季・冬季のアイドリングを減らし無駄な燃料使用をなくす事。	✓		本年度二酸化炭素排出量は目標より大幅に増えた。 原因として仕事量の拡大及び無駄なエネルギー 使用の部分があるので、確認を徹底し、無駄をなくす意識を高める事。 洗車場の油水分離槽の汚れによる悪臭がでないよう常に綺麗にすること。
外部環境変化応	【法規制の改正対応及び その他要求事項対応・他】			✓	優良事業者認定取得準備
代表者による評価と見直し	環境経営方針	変更無し		✓	
	環境経営目標及び環境経営計画	変更無し		✓	
	実施体制	変更無し		✓	

＊代表者による全体の評価と定期的見直しは毎年5月に実施する。

2024年5月31日　　代表取締役　佐藤宏美